

福島小だより

学校通信



めざす児童像：よく考え 心やさしい 元気な子
令和3年2月1日 第13号

甘楽町立福島小学校
校長 中島 剛

○「二月は逃げる」 ～時を大切に～

1月の終わりは、春のような暖かい日もあれば真冬の寒さの日もあり、寒暖の差が大きな1週間でした。皆様、お変わりなくお過ごしでしょうか。

昔から「一月は行く」と言われ、ついこの前、新年を迎えたかと思うと、あっという間に2月になりました。月日が経つのは早いものです。そして今年2月2日が節分です。新型コロナという悪い鬼を追い出して、普通の生活ができる幸福を呼び込みたいものです。そう願いつつ、まだしばらくは、感染予防にご留意ください。

さて、「二月は逃げる」「三月は去る」と言い、時が経つのがさらに早く感じられるかもしれません。子どもたちは一日一日を大切に、学習のまとめや今の学年の思い出作りに取り組んでほしいと思います。保護者の皆様には、今後ともご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

○書き初め大会 ～文字は心をあらわします～

令和3年の初めに、心を落ち着かせて書き初めに臨みました。1・2年生は硬筆で、3～6年生は毛筆で行いました。今までの練習の成果を十分に発揮し、最高の1枚を完成させるために、一文字、一画に集中して丁寧に書いて仕上げていました。



○音楽集会 ～震災から10年、復興の願いを込めて～

放送室と各教室をオンラインで結んで「花は咲く」を歌いました。この歌は、東日本大震災の復興ソングとしても有名です。まず音楽委員から、被害を受けた東北地方の県の位置の問題や、宮城県出身の芸能人やスポーツ選手を当てるクイズが出題され、その人たちの復興に向けた活躍が紹介されました。最後に、放送で流れた曲に合わせて、各教室で願いを込めて歌いました。

